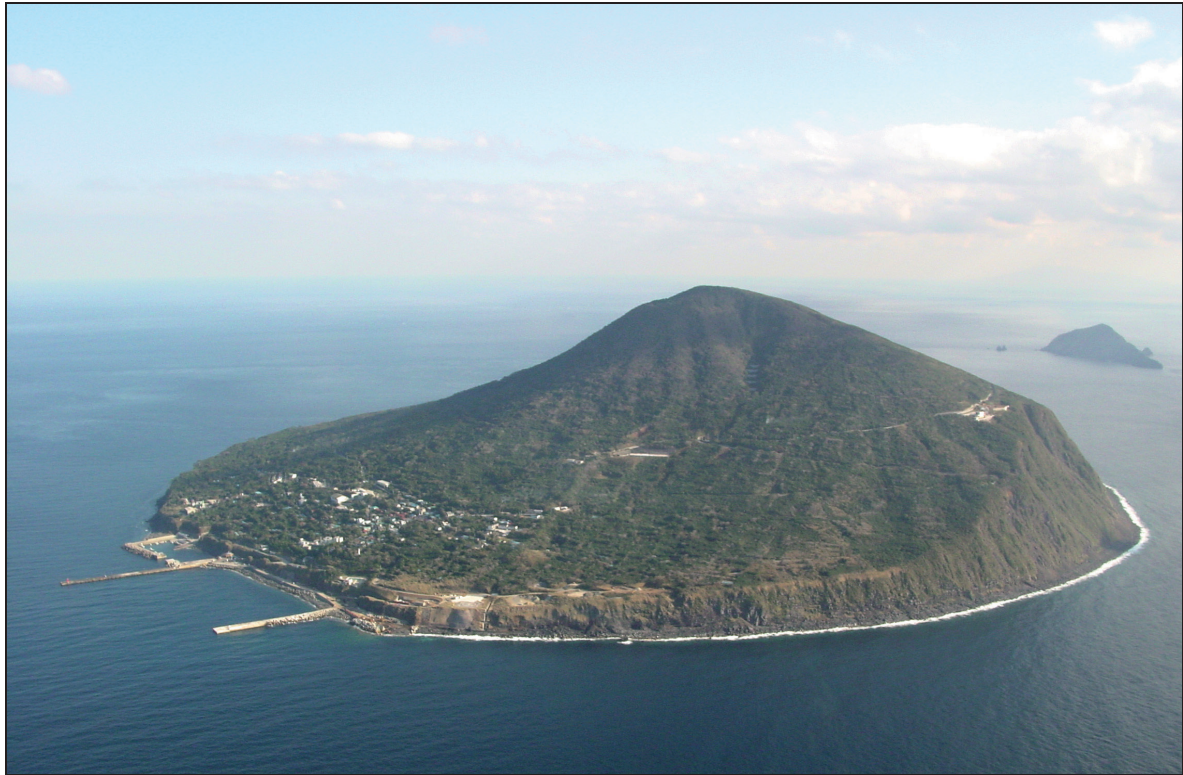
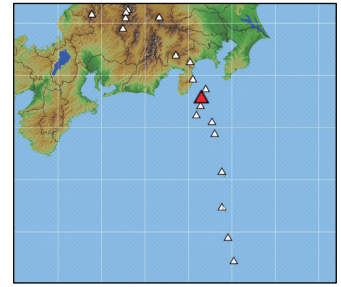


59. 利島 としま Toshima

北緯 34° 31′ 13″ 東経 139° 16′ 45″ 標高 508m (宮塚山) (三角点・利島)



利島全景 北西側上空から 2002年10月30日 気象庁撮影

概要

利島は、伊豆大島の南南西約 25km に位置する、直径約 2.5km の火山島で、海面下の部分を含めると直径約 5km、比高約 600m の規模である。主に玄武岩質のアア溶岩の積み重なりからなる成層火山で、溶岩の重なりやそれを切る岩脈が海食崖によく露出している。利島の噴火開始年代はわかっていない。最新期の活動は、宮塚山の北に位置する「カジアナ」火口から流れ出し、北北西に流下した「カジアナ」火口溶岩流と、「カジアナ」火口の東、海拔 390m 付近の「ミアナ」火口から北東に流下した「ミアナ」火口溶岩流の噴火である。構成岩石の SiO₂ 量は 49.4～55.1 wt.% である。

地形図

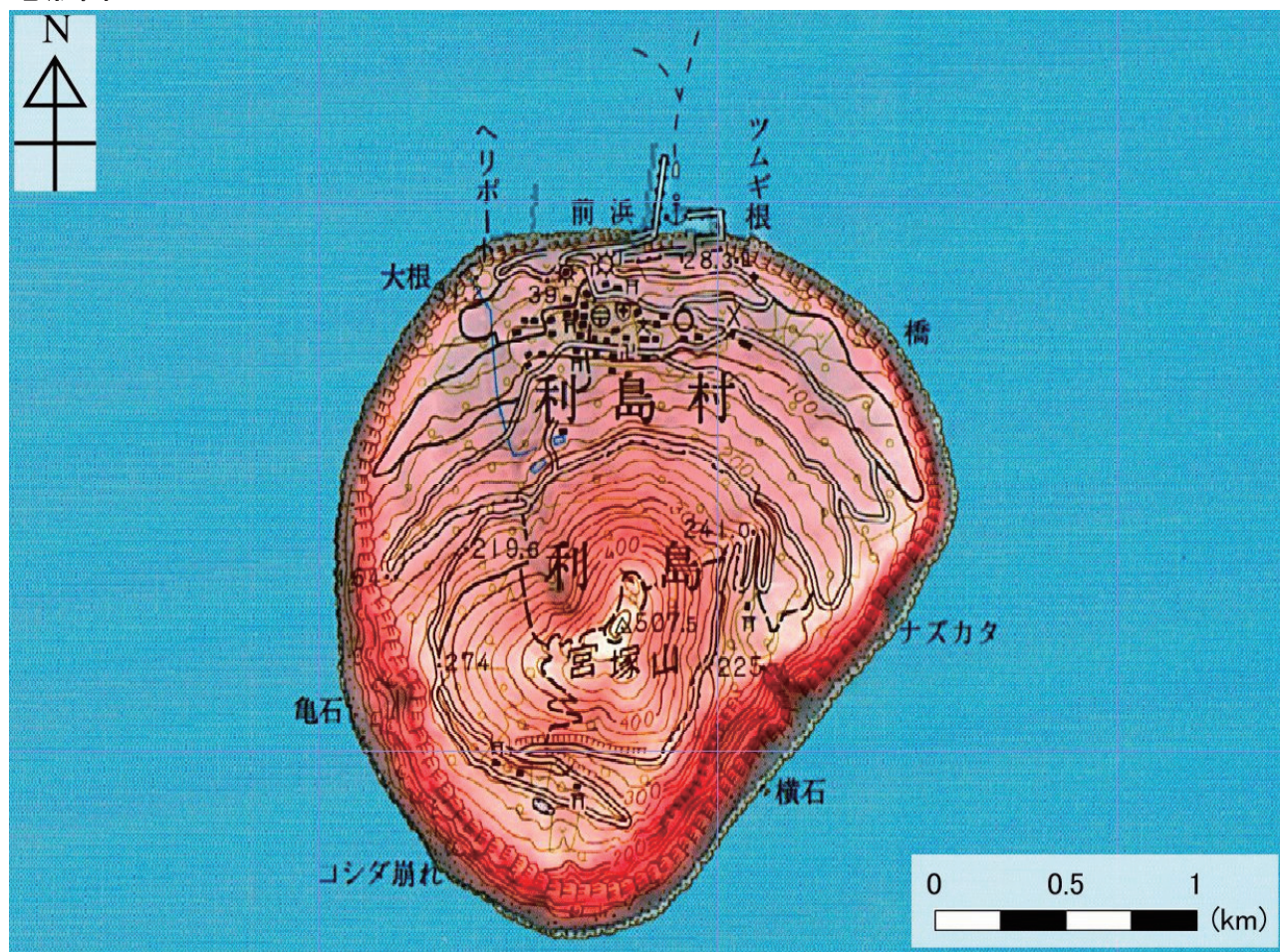


図 59-1 利島の地形図。

国土地理院発行の5万分の1地形図(利島)及び数値地図50mメッシュ(標高)

噴火活動史

・過去1万年間の噴火活動

カジアナ火口から噴出した溶岩に覆われる泥流堆積物から約8000年前の年代が、溶岩の上位に位置する縄文時代遺跡から約4000年の年代が得られていることから、溶岩は4000～8000年前の間に噴出したと考えられる(一色, 1978)。

噴火年代	噴火場所	噴火様式	主な現象・マグマ噴出量
9.1←→4ka ¹	カジアナ火口 ¹	マグマ噴火 ¹	溶岩流。

※噴火イベントの年代、噴火場所、噴火様式等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)を参考とした。なお、年代は暦年代で示す。表中の「ka」は「1000年前」を意味し、西暦2000年を0 kaとして示した。

A←→B: A年からB年までの間のどこかで起こった噴火イベント

【引用文献】

1. 一色直記(1978) 利島地域の地質. 地域地質研究報告(5万分の1地質図幅), 地質調査所, 34p.
2. 東京都(1992) 伊豆諸島における火山噴火の特質及び火山防災に関する調査研究資料集(地学編). 東京都, 373p.

・有史以降の火山活動

記録に残る噴火はない。

近年の火山活動

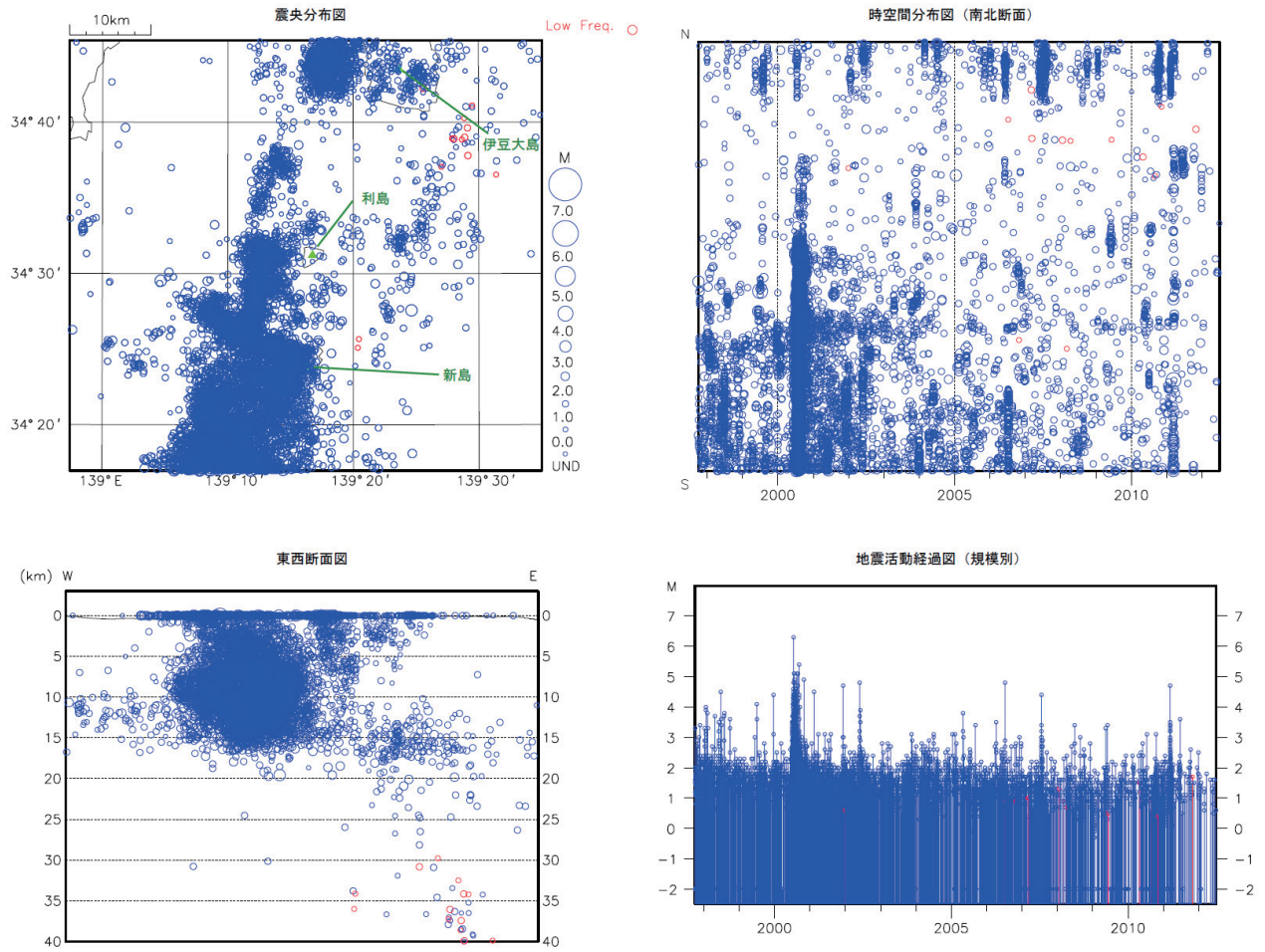


図 59-2 広域地震観測網による浅部の地震活動(青)及び深部低周波地震活動(赤)
(1997年10月1日~2012年6月30日).

防災に関する情報

①避難実績及び入山規制等の実績

いずれもなし

社会条件等

①人口

- ・島内人口：319人（2011年1月1日現在の東京都統計）
- ・山麓の居住区等：宮塚山から0.7km。

②国立・国定公園・登山者数等

- ・富士箱根伊豆国立公園 利島
年間観光客数：約7000人（東京都大島支庁管内概要平成22年版から）
年間登山者数：不明

③付近の公共機関

機関・部署名	所在地	電話番号
利島村役場	東京都利島村 248 番地	04992-9-0011

④主要交通網

- ・島外：船舶（東海汽船、神新神汽船）
ヘリコプター（東邦航空愛ランドシャトル）
飛行機（全日空、新中央航空）
- ・島内：なし

⑤関連施設

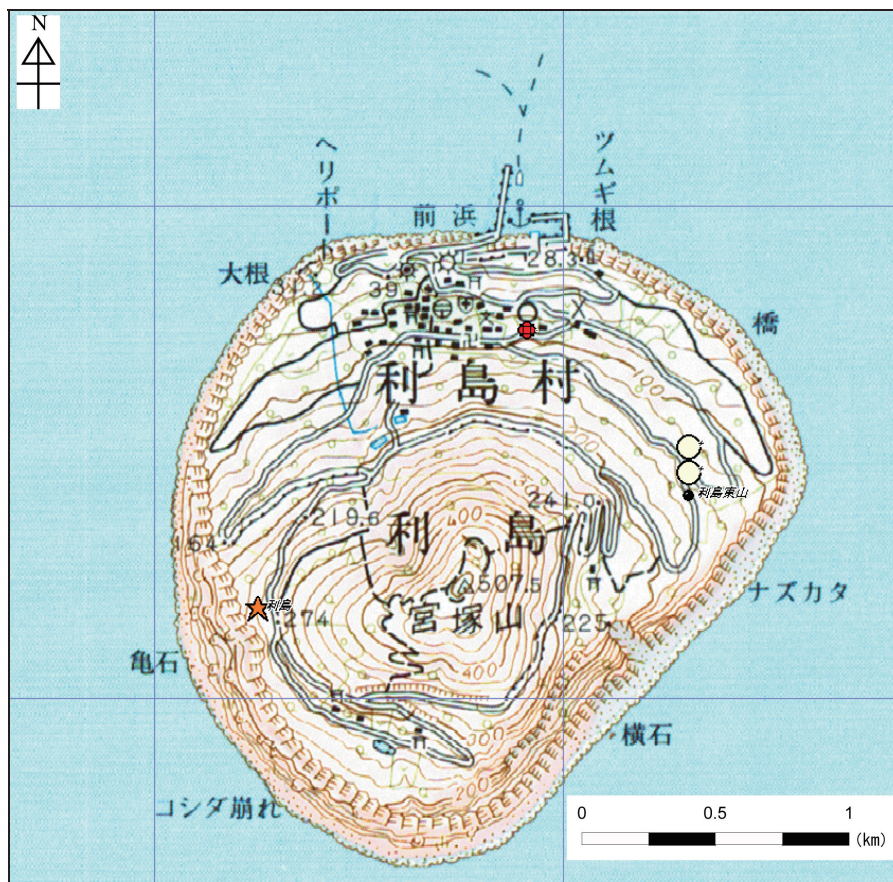
なし

関係する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
東京火山監視・情報センター	(気象庁本庁) 東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-8341
東京管区气象台総務部業務課	東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-2949

気象庁および大学等関係機関の観測網

※ 同一地点に複数の計器を設置している場合には、観測点の位置を●で示し、その周囲に設置している観測点の種類を示している。



国土地理院発行の5万分の1地形図(利島)

凡 例		
(気象庁)	(国土地理院)	(東京都)
● 震度計	★ GPS	○ 地震計(短周期)

図 59-2 観測点位置図 (広域).

引用文献

一色直記 (1978) 利島地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 8p.